



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4581 URL <https://www.taisho-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 上原 明
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 田中 慎一 (TEL) 03-3985-2020
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	227,669	13.8	23,124	224.2	29,167	153.8	20,899	132.9
2022年3月期第3四半期	200,051	△6.6	7,133	△65.8	11,493	△53.5	8,974	△37.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 57,319百万円(341.3%) 2022年3月期第3四半期 12,987百万円(△21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	254.93	254.60
2022年3月期第3四半期	110.43	110.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	946,836	815,550	83.5
2022年3月期	888,159	767,957	84.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 790,515百万円 2022年3月期 747,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2023年3月期	—	50.00	—		
2023年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	303,000	13.0	23,500	118.7	29,500	60.2	19,000	44.8	231.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	85,139,653株	2022年3月期	85,139,653株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,158,907株	2022年3月期	3,154,725株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	81,982,885株	2022年3月期3Q	81,264,263株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の国内OTC医薬品市場は、新型コロナウイルス感染症第8波による抗原検査キットの需要拡大並びに中国のゼロコロナ政策緩和による感染者増加に伴い総合感冒薬、解熱鎮痛薬などの特需が発生し、前年を上回る結果で推移しました。

海外OTC医薬品市場は、欧州では新型コロナウイルス感染症流行の影響による解熱鎮痛剤需要の増加や風邪薬市場の回復等があり、全体消費が拡大傾向にあります。東南アジア市場でも新型コロナウイルス感染症流行の影響による解熱鎮痛剤需要の増加や、一部の国で昨年度不振であった外用鎮痛消炎剤などのカテゴリーに回復傾向も見られ、全体としては前年同時期を上回って推移しました。

医薬事業につきましては、新薬創出の難易度が増す中で、医療費適正化政策の推進や薬価制度改革の影響等により、依然として厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、製品開発面で生活者の健康意識の高まりに対応した新しい領域を開拓していくとともに、生活者のニーズを満たす製品開発をより一層進め、新たな需要の創造に努めております。また、販売面では生活者から支持される強いブランドを目指して、生活者との接点の拡大、共感を得る販促活動を実践するとともに、「大正製薬ダイレクト」、「TAISHO BEAUTY ONLINE」など、通信販売チャネルの拡大にも注力しております。

海外では、2009年度のアジアOTC医薬品事業への本格的な参入以来、インドネシア、フィリピン、タイ、マレーシアなど、東南アジアを中心としたOTC医薬品事業の強化に取り組んでまいりました。ベトナムにおいては、ハウザン製薬を2019年5月に連結子会社化し、同社の事業基盤を活かしたベトナムにおける医薬品事業展開の強化に取り組んでおります。また、2019年7月にはフランスのUPSA社を完全子会社化し、東南アジア市場に欧州市場を加えた2極体制により海外事業の拡大を図り、持続的な成長の実現を目指しております。

医薬事業部門では、重点領域に注力しながら、きめ細かい情報提供活動による新製品の早期立ち上げやライフサイクルマネジメントなどにも取り組み、売上最大化を図っております。また、後期開発品・製品の導入や自社創成品の導出等のライセンス活動の取り組みを進めています。加えて、研究開発面では外部研究機関との連携強化や先端技術の活用等にも取り組むことで、研究開発機能の強化によるパイプライン拡充に努めております。

当第3四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、2,276億6千9百万円（前年同四半期比+276億1千7百万円、13.8%増—以下増減の比較については「前年同四半期比」の説明とする）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	1,986億円	(+ 288億円	17.0%増)
内訳			
国内	1,030億円	(+ 67億円	7.0%増)
海外	936 "	(+ 213 "	29.4%増)
その他	19 "	(+ 8 "	77.5%増)
医薬事業	291億円	(△ 12億円	3.9%減)
内訳			
医療用医薬品	283億円	(△ 3億円	0.9%減)
その他	8 "	(△ 9 "	54.3%減)

主要製品・地域の売上状況は次のとおりであります。

<セルフメディケーション事業>

当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,986億円（+288億円、17.0%増）となりました。

主力ブランドでは、「リポビタミンシリーズ」は、402億円（4.7%増）となりました。「パブロンシリーズ」は、213億円（42.6%増）となりました。「リアップシリーズ」は、90億円（19.0%減）となりました。「ビオフェルミンシリーズ」は、95億円（18.4%増）となりました。

海外では、アジア地域で480億円（34.3%増）、欧米地域で453億円（27.0%増）となりました。

<医薬事業>

当第3四半期連結累計期間の売上高は、291億円（△12億円、3.9%減）となりました。

主要製品では、2型糖尿病治療剤「ルセフィ」103億円（5.9%増）、骨粗鬆症治療剤「ボンビバ」59億円（2.9%増）、整腸剤「ビオフェルミン」は36億円（4.2%増）、経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコア」は32億円（2.2%増）となりました。

利益面につきましては、増収による売上総利益の増益及び効率的な広告宣伝費の使用等により、営業利益は231億2千4百万円（224.2%増）、経常利益は291億6千7百万円（153.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は208億9千9百万円（132.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ587億円増加し、9,468億円となりました。受取手形及び売掛金が174億円、原材料及び貯蔵品が21億円、有形固定資産が178億円、無形固定資産が118億円、投資有価証券が64億円それぞれ増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ111億円増加し、1,313億円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ476億円増加し、8,156億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益209億円及び剰余金の配当82億円により利益剰余金が127億円、その他有価証券評価差額金が42億円、為替換算調整勘定が261億円、非支配株主持分が44億円それぞれ増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期までの業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表しました通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

ー売上高

売上高予想を従来の予想から225億円引き上げ、3,030億円といたします。

セルフメディケーション事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、国内につきましては、抗原検査キット及びパブロンの特需が発生したため従来の予想から15億円、海外につきましては、解熱鎮痛剤需要の増加などにより従来の予想より208億円、それぞれ引き上げます。

医薬事業につきましては、ロイヤルティの実績等を織り込み、3億円予想を引き上げます。

ー利益面

営業利益の予想を235億円（従来予想比75億円増）、経常利益の予想を295億円（従来予想比95億円増）、親会社株主に帰属する当期純利益の予想を190億円（従来予想比70億円増）に修正いたします。

売上高予想引き上げによる売上総利益の増加、販売費及び一般管理費、営業外損益等の第3四半期までの実績を踏まえて見直しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	265,049	265,189
受取手形及び売掛金	53,676	71,082
有価証券	7,219	7,399
商品及び製品	25,456	25,316
仕掛品	3,369	3,054
原材料及び貯蔵品	16,066	18,164
その他	8,438	12,824
貸倒引当金	△411	△452
流動資産合計	378,864	402,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,455	55,684
機械装置及び運搬具（純額）	15,291	17,067
土地	37,394	37,122
建設仮勘定	13,434	23,524
その他（純額）	3,716	3,660
有形固定資産合計	119,291	137,059
無形固定資産		
のれん	125,769	132,551
販売権	366	301
商標権	68,060	72,670
ソフトウェア	10,812	10,344
その他	8,050	9,007
無形固定資産合計	213,059	224,875
投資その他の資産		
投資有価証券	141,067	147,468
関係会社株式	12,557	12,802
長期前払費用	1,823	1,514
退職給付に係る資産	11,240	11,647
繰延税金資産	9,508	8,103
その他	976	1,015
貸倒引当金	△230	△229
投資その他の資産合計	176,943	182,321
固定資産合計	509,294	544,256
資産合計	888,159	946,836

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,101	13,535
未払金	15,521	21,934
未払法人税等	3,579	2,430
未払費用	11,736	12,311
返金負債	8,796	11,718
賞与引当金	3,633	4,799
その他	3,909	3,572
流動負債合計	62,277	70,302
固定負債		
役員退職慰労引当金	969	977
退職給付に係る負債	21,329	21,636
繰延税金負債	29,162	32,500
その他	6,462	5,867
固定負債合計	57,924	60,982
負債合計	120,202	131,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
利益剰余金	702,984	715,678
自己株式	△21,033	△21,054
株主資本合計	711,950	724,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,586	29,827
為替換算調整勘定	8,488	34,605
退職給付に係る調整累計額	1,371	1,459
その他の包括利益累計額合計	35,447	65,892
新株予約権	753	821
非支配株主持分	19,806	24,213
純資産合計	767,957	815,550
負債純資産合計	888,159	946,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	200,051	227,669
売上原価	77,846	91,309
売上総利益	122,205	136,360
販売費及び一般管理費	115,071	113,235
営業利益	7,133	23,124
営業外収益		
受取利息	1,014	1,158
受取配当金	1,993	2,113
持分法による投資利益	258	306
為替差益	1,365	2,411
その他	316	371
営業外収益合計	4,947	6,361
営業外費用		
支払利息	109	147
支払手数料	87	63
子会社株式取得関連費用	325	—
その他	65	108
営業外費用合計	588	318
経常利益	11,493	29,167
特別利益		
固定資産売却益	6	89
投資有価証券売却益	4,069	1
関係会社株式売却益	—	800
新株予約権戻入益	38	—
特別利益合計	4,114	891
特別損失		
固定資産処分損	94	127
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	29
特別損失合計	95	157
税金等調整前四半期純利益	15,513	29,900
法人税等	5,070	7,224
四半期純利益	10,442	22,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,468	1,777
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,974	20,899

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	10,442	22,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,602	4,188
為替換算調整勘定	9,077	30,314
退職給付に係る調整額	△81	68
持分法適用会社に対する持分相当額	151	71
その他の包括利益合計	2,544	34,642
四半期包括利益	12,987	57,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,032	51,344
非支配株主に係る四半期包括利益	2,955	5,974

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	169,745	30,306	200,051	—	200,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	169,745	30,306	200,051	—	200,051
セグメント利益又は損失(△) (注2)	8,889	△289	8,599	△1,466	7,133

(注) 1 「その他」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	198,552	29,117	227,669	—	227,669
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	198,552	29,117	227,669	—	227,669
セグメント利益又は損失(△) (注2)	26,068	△1,595	24,472	△1,347	23,124

(注) 1 「その他」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。